



OSAKA UNIVERSITY

第75回日本公衆衛生学会 自由集会 保健師の記録について

大阪大学大学院医学系研究科

小西 かおる



保健師記録とは？

保健師記録の開示の経緯

1994年	薬害エイズ問題等により診療情報への関心が高まる
1997年	医療法改正 (インフォームド・コンセントの重要性盛り込まれる)
1998年	「カルテ等の診療情報の活用に関する検討会」報告書 (厚生省)
1999年	行政機関の保有する情報の公開に関する法律 (情報公開法)
2001年	都保健所における保健婦・師の相談記録に関するガイドラインおよびマニュアルの作成
2003年	個人情報保護法



看護記録の法的位置付け

助産録

保健師助産師看護師法 第42条 所定の文書

看護師・保健師が記載する記録

明確な法的規定はない



守秘義務

保健師助産師看護師法 第42条の2

保健師、看護師又は准看護師は、正当な理由がなく、その業務上知り得た人の秘密を漏らしてはならない。保健師、看護師又は准看護師でなくなった後においても、同様とする。

同 第44条の3

第42条の2の規定に違反して、業務上知り得た人の秘密を漏らした者は、6月以下の懲役又は10万円以下の罰金に処する。



個人情報保護法制のポイント

OSAKA UNIVERSITY

- 個人情報保護性の基本的スタンス
 - 個人情報保護法 第1条
「・・・個人情報の**有用性**に配慮しつつ、**個人の権利利益を保護**することを目的とする」
- 個人情報の取り扱いにおける**透明性**の確保
 - その際のキーポイントは個人情報の**利用目的**
- 個人情報の取り扱いにおける**本人関与**の保障



参考資料等

- 1999年

- 看護記録の開示に関するガイドライン
日本看護協会

- 2004年

- 長江弘子・柳澤尚代：こう書けばわかる！保健師記録. 医学書院

- 2005年

- 看護記録および診療情報の取り扱いに関する指針
日本看護協会



保健師記録とは？

OSAKA UNIVERSITY

- 保健師活動における実践の思考と行為の一連の過程を示すもの
 - 多職種との情報を共有する
 - 保健サービスの質を保証するケアの妥当性、継続性、一貫性を維持する
 - 教育・研究に資する
 - 保健サービスに関連した行為の法的根拠である
- 行政機関における公文書として位置づく
 - 組織の文書規定に明記され、運用される
 - 組織の記録として作成・管理・廃棄される
 - 行政評価に資する



保健師記録の課題



保健師記録の課題

記録の書き方

- 保健師のアセスメントが表現されていない
- 主語があいまいでわかりづらい
- 誰のための記録か意識されていない
- 書き方や基準が統一されていない

記録の活用

- 実践活動の評価に役立てられていない
- 保健師のスキルアップに活用されていない
- サービスの継続に役立てられていない



記録の5段階のステップ



I.書き始める前に：

記録に記す概要を明らかにする

OSAKA UNIVERSITY

- 記録の「**目的**」を明確にする
- 記録したい「**主張**」を明確にする
 - 「主張」とは、記録で他の保健師に伝えたいこと
 - 家庭訪問、面接の結果、保健師が判断した内容、今後の見通し



II. Plan

主張を根拠づける情報を客観的に記す

OSAKA UNIVERSITY

- 家庭訪問の**目的**や、**他の保健師に伝えたいこと**に沿った事実を整理する
- 事実を内容ごとに**分類**する
- **事実**と**意見**を**区別**し、客観的に記す
- 対象者の**生活**や**考え方**、**価値観**を表す事実を吟味し、選び出す
- 保健師の助言、指導、今後の見通しを根拠づける「**事実**」が書かれているか見直す



Ⅲ.Do

保健師の実践を記す

OSAKA UNIVERSITY

- 実践とは、情報提供、助言・指導、他機関連絡等である
- **目的**に対応した保健師の**言動**や**行為**を記す
- 保健師の実践の**意図**を記す
- 保健師の言動を要約、あるいは、必要に応じてそのまま記す
- 現在**不明な点**や、今後**必要な情報収集の内容**を記す



IV. See

保健師の実践に対する 対象者の同意や反応を記す

OSAKA UNIVERSITY

- 保健師の**実践の評価**として、対象者の反応や同意を記す
- 対象者の言動を要約、あるいは、必要に応じてそのまま記す
- 今後の**見通し**や**計画**を記す
- 今後の対象者とのかかわりの頻度、接触方法や期間などを記す（次回訪問日のみを記載しない）
- 現在**不明な点**や、今後**必要な情報収集の内容**を記す

V.書き終えたら 記録全体を評価する

- 記録の**目的**は明確か？
- 他の保健師に**伝えたいこと**は明確か？
- 事実と意見は**区別**できているか？
- **客観的**に記されているか？
- 実践の根拠となる**事実**は記されているか？
- 実践に対する対象者の**反応**は記されているか？
- 保健師の**意図**や**今後の見通し**は記されているか？
- Plan/Do/Seeのつながりはあるか？



良い記録を書くコツ

OSAKA UNIVERSITY

- この記録を読む相手の立場になってみる
 - 読み手を想定して書く
 - 保健師は、一番何を知りたいか？
 - 自分は、何を知りたいか？
 - 管理者は、何を知りたいか？
 - 多職種は、何を知りたいか？
- 記録の順序と戦略を練る
 - 大切なこと、知らせたいことを、まずはじめに考える
 - 全体の構成を考え、目次を立てる
 - 概要を書いたあとで、項目を立てて詳細を述べる

まとめ

- 保健師として、目的をもった実践をしよう！
- 保健師が、何を考え、どのような実践を行い、どのような成果が得られたのか、ちゃんと伝えよう！
- 保健師としての活動を、記録を整理することで見直し、次の活動に発展させよう！

- 意味のある記録にすることで、自分自身が保健師として成長できる！
- 記録を用いたOJTの取組みで、職場の質向上につなげよう！